

市民生活部 マネジメント方針

市民生活部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和5年4月1日

市民生活部長
伊藤直樹



【基本方針】

市民の多様なニーズに対応するため、デジタル技術を活用し、窓口サービスの利便性の向上を図ります。

幅広く市民の意見の聴取に努め、市の施策立案や事業の実施等に活かします。

市民が安全安心な消費生活を送ることができるよう、消費者行政の推進に努めます。

市民、市民活動団体と行政が連携し、共通の目標に向かって成果と責任を共有しあう市民協働のまちづくりを進めます。また、ボランティア活動のきっかけづくりやニーズに応じた支援を行い、多様で継続的なボランティア活動につなげます。

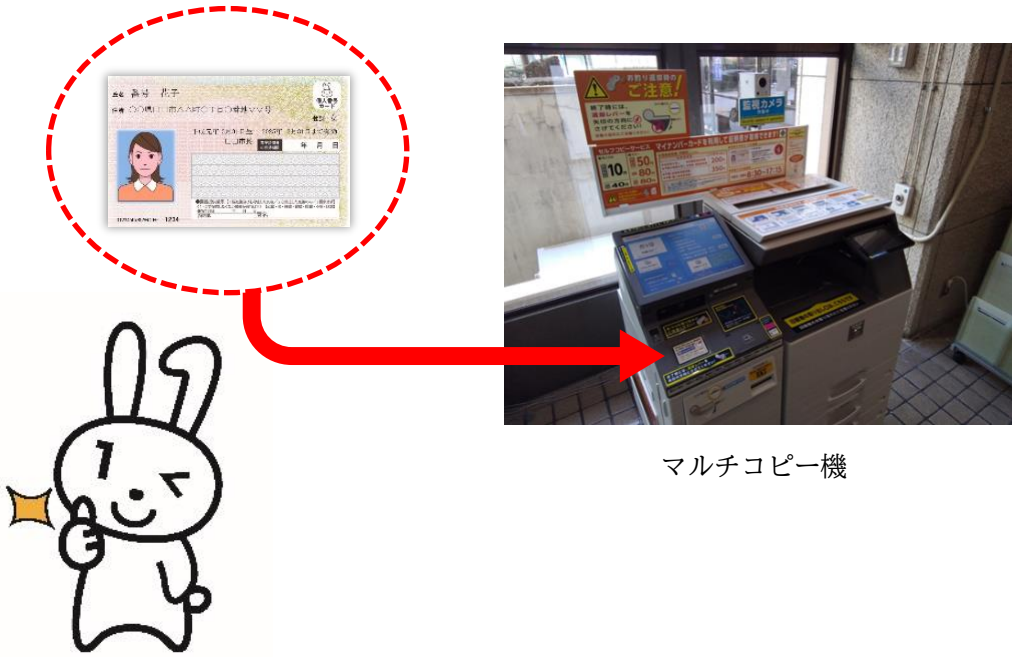


環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指し、自然環境や生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理、環境教育の充実など各種施策を計画的に進めるとともにゼロカーボンシティの実現に向け、本市における再生可能エネルギーの利用促進に関する目標等を設定します。また、安定したごみ処理を継続するため、新ごみ処理施設の整備を着実に進めます。

【組織目標】


- I. 市民の多様なニーズに対応するため、デジタル技術を活用し、窓口サービスの利便性の向上を図ります
- II. 市民が主体となるまちづくりを推進するため、広く市民の提言等を市政に反映します
- III. 消費者行政の充実を図り、安全安心な消費生活を支えます
- IV. ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進めます
- V. ゼロカーボンシティの実現に向けた司令塔としての役割を果たすとともに、豊かな自然環境や良好な生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理等の取組を推進します

【行動目標】

組織目標Ⅰ 市民の多様なニーズに対応するため、デジタル技術を活用し、窓口サービスの利便性の向上を図ります

行動目標	SDGs 指標
<p>1 新 マイナンバーカードを使用したコンビニ交付サービスの利用促進 DX</p> <p>市民の多様なニーズへの対応や、窓口業務の混雑緩和を図るため、コンビニ交付サービスの利用を促進します。</p> <p>サービスセンターや連絡所、市民課窓口におけるポスター掲示や、チラシの自治会回覧を行うことで、コンビニ交付サービスのメリットを周知するとともに、証明書交付に必要なマイナンバーカードの交付を進めていきます。</p> <p>また、市庁舎内のマルチコピー機（※1）を来庁者に実際に利用いただくことで、コンビニ交付サービスの利便性を理解いただき、今後の利用促進につなげます。</p> <div data-bbox="177 797 1161 875" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">各種証明書のコンビニ交付の割合（※2）：15.8%（4年度）→ 20%（5年度）</div> <p>※1 マルチコピー機</p> <p>コンビニエンスストアチェーンの店舗内などに設置された、双方向通信が可能な情報通信端末で、利用者は、画面上のタッチパネルを操作して、コピーやファクス、写真プリントの他、行政サービス（住民票の写し、印鑑証明などの交付）を受けることができる。</p> <p>※2 コンビニでの証明書交付数／証明書交付総数</p> <p><令和4年度> 15.8%（37,425件/236,383件）</p> <p>コンビニで交付可能な、「住民票」「印鑑登録証明書」「所得・課税証明書」「戸籍全部（個人）事項証明書」「戸籍の附票」を対象とする。</p> <div data-bbox="177 1317 1193 1971"></div> <p style="text-align: center;">マルチコピー機</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>

組織目標Ⅱ 市民が主体となるまちづくりを推進するため、広く市民の提言等を市政に反映します

行動目標	SDGs 指標
<p>2 市民意見募集の推進</p> <p>総合計画に基づく各種施策に対する市民の満足度やニーズを把握し、今後の市政運営の方向性を探るため、「市民意識調査」を実施します。</p> <p>紙の調査票での回答方法に加え、より便利なインターネットでの回答方法を案内するチラシを同封するなど、幅広い世代の方から回答をいただくことで回答率の向上を図り、より正確な市民ニーズの把握に努めます。</p> <p>また、市の重要な施策について市民から広く意見を募集する「パブリック・コメント制度」を運用するとともに、市の施策について市民に説明する「市政出前講座」、市民の意見や提案を市民ポスト・メール・電話等で広く受け付ける「フェニックス通信」を実施し、広聴の充実を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>市民意識調査の回答率（※）： 41.8%（2年度）→ 45%以上（5年度） （前回調査は令和2年度に実施）</p> </div> <p>※ 市民意識調査の対象者に対する回答者の割合 （回答者数／対象者数 2,500人）</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">調査回答のイメージ</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>

組織目標Ⅲ 消費者行政の充実を図り、安全安心な消費生活を支えます

行動目標

SDGs 指標

3 消費者行政の推進

市民が安全安心な消費生活を送ることができるよう、消費生活相談の解決力を強化します。

また、消費に関する動向を的確に把握し、消費者被害未然防止のための啓発・教育を推進します。

③8 消費生活相談の解決率 : 99.1%以上 (※)
各種消費者講座実施回数 : 38回 (4年度) → 40回以上 (5年度)



消費者講座 (寸劇公演) の様子

※ 消費生活相談の解決率

(相談件数 - 斡旋不調・処理不能件数) / 相談件数

令和4年度実績 (1,493件 - 12件) / 1,493件 ≒ 99.2%



令和5年度目標 (相談件数 - 斡旋不調・処理不能件数) / 相談件数 ≒ 99.1%以上



組織目標Ⅳ ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進めます

行動目標	SDGs 指標
<p>4 市民と行政との協働によるまちづくりの推進</p> <p>市民、市民活動団体等と市が、地域課題の解決に向け、対等な立場で協力し、それぞれの特性や強みを生かした協働のまちづくりを進めます。</p> <p>また、ふくい市民活動基金助成事業（※）をきっかけとして、新たな協働事業の創出に努めます。</p> <p>さらに、助成事業の財源となる「ふくい市民活動基金」については、市民及び事業者に基金への協力を積極的に呼び掛け、新たな寄附を増やします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>市が市民活動団体等との協働に取り組む事業数 ： 118 件（4 年度）→ 120 件（5 年度）</p> <p>「ふくい市民活動基金」寄附件数 : 101 件（4 年度）→ 105 件（5 年度）</p> </div> <p>※ ふくい市民活動基金助成事業 「福井市市民協働の推進及び非営利公益市民活動の促進に関する条例」に規定する非営利公益市民活動市民活動促進基金（ふくい市民活動基金）による助成事業</p>	 
<p>5 ボランティア活動の支援</p> <p>ボランティアに関する情報提供、活動相談、実際にボランティア活動に踏み出すきっかけづくりとなる講座や体験活動を充実させ、さらに継続的な活動につながっていくよう支援していきます。</p> <p>災害時に災害ボランティアセンターを円滑に設置、運営するため、平時から関係機関や団体と連携を深め、実践的な訓練や研修などを通してセンターの運営能力やボランティアの受入れ技術の向上を目指します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>総 23 ボランティア講座受講者数 : 312 人（4 年度）→ 320 人（5 年度）</p> <p>災害ボランティアセンター運営訓練等実施回数 ： 5 回</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">ボランティア活動体験の様子</p>	 

組織目標V ゼロカーボンシティの実現に向けた司令塔としての役割を果たすとともに、豊かな自然環境や良好な生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理等の取組を推進します

行動目標	SDGs 指標
<p>6 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進 ゼロカーボン</p> <p>2050年のゼロカーボンシティ(※1) 実現を見据え、中長期的な脱炭素のための計画づくりを進め、再生可能エネルギー利用促進に関する目標等を設定します。</p> <p>また、あらゆる事務事業で温室効果ガス排出量の削減又は吸収の取組が推進されるよう、部局を横断した進捗管理や助言等を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>総 30 温室効果ガス排出量 (CO₂ 換算値)</p> <p>： 2,068 千 t-CO₂ (2 年度速報値)</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 2,043 千 t-CO₂ (3 年度 (目標値※2))</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 2,018 千 t-CO₂ (4 年度 (目標値※2))</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 1,993 千 t-CO₂ (5 年度)</p> <p>市有施設におけるエネルギー使用量</p> <p>電気： 57,860 千 kWh (4 年度見込み) → 57,281 千 kWh (5 年度)</p> <p>ガソリン： 102,298 リットル (4 年度) → 100,825 リットル (5 年度※3)</p> <p>ゼロカーボンシティに関する出張啓発活動回数</p> <p style="padding-left: 20px;">： 8 回 (4 年度) → 9 回 (5 年度)</p> </div> <p>※1 ゼロカーボンシティ 2050 年に、CO₂ などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量から、森林等による吸収量を差し引いて、排出量を実質ゼロにすることを宣言した自治体</p> <p>※2 温室効果ガス排出量の 3 年度及び 4 年度が目標となっている理由 温室効果ガス排出量の算出に用いる「都道府県エネルギー消費統計」等の公表が暫定値で 2 年後、確定値で 3 年後となるため。令和 3 年度実績は令和 5 年度に、令和 4 年度実績は令和 6 年度に、暫定値で公表</p> <p>※3 市民生活に不可欠な消防業務に関しては、その性質上、業務量の削減が困難である。特に、消防業務は年間ガソリン使用量の約 3 割を占めており、緊急出動等の回数がガソリン使用量の削減目標の未達に大きく影響するため、削減対象から除くこととする。</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div>  <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>

行動目標

SDGs 指標

7 自然環境保全の取組と環境教育の拡充

本市の豊かな自然を守り、次の世代に伝えていくため、地域住民等の自然保護活動を支援するとともに、環境ボランティアとの協働を推進していきます。

また、市民一人ひとりが環境について自ら学び、考え、行動できるきっかけとなるよう、環境学習講座を開催します。特に児童館での出前講座や小中学校でのESD(持続可能な開発のための教育)の視点を取り入れた「福井市環境学習プログラム」に取り組むことで、子どもたちへの環境教育を推進していきます。

- | | |
|-----|--|
| 総32 | 環境ボランティア(福井市自然ファンクラブ)制度登録者数(累計)
: 312人(4年度) → 350人(5年度) |
| 総33 | 環境に関する講座参加者数(累計)
: 2,531人(4年度) → 4,700人以上(5年度) |



竹林整備の様子



環境に関する講座の様子

行動目標

SDGs 指標

8 ごみの発生抑制、資源としての活用 **ゼロカーボン**

環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指し、3R（リデュース【排出抑制】、リユース【再使用】、リサイクル【再生利用】）を推進していくため、ごみの発生抑制と資源化の啓発活動に取り組みます。

プラスチックごみの発生抑制や食品ロス（※1）の削減等について、出前講座の開催やイベントでの出展、SNSなど様々な手段を活用した啓発を行います。

また、可燃ごみにリサイクル可能な古紙が多く含まれていることから、ナッジ（※2）の手法を取り入れた雑がみ分別袋を市内の小中学生に配布し、リサイクル意識を高めることで、焼却されるごみの削減を図ります。

マル優エコ事業所（※3）については、企業に登録を呼びかけ、新規登録企業増に努めます。



福井市資源物及び廃棄物（ごみ）処理基本計画の改訂	
1人1日あたりのごみ排出量	: 843g（4年度）→ 837g（5年度）
雑がみ分別袋の配布	: 9月
マル優エコ事業所登録数	: 62社（4年度）→ 66社（5年度）

※1 食品ロス

手つかず食品や食べ残しなど、食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品

※2 ナッジ

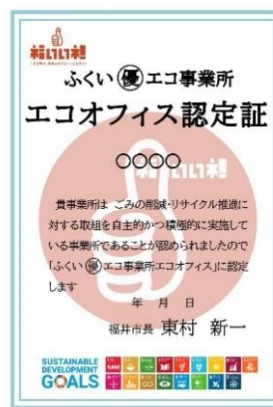
「軽く肘でつつく」、「そっと後押しする」という意味の英語で、行動科学の知見を活用して、人々がより良い選択を自発的にとれるようにする政策手法

※3 マル優エコ事業所

福井市内で事業系一般廃棄物の削減等に積極的に取り組む事業所を「ふくいマル優エコ事業所」として認定し、その活動を広く他の事業所へ広報することにより、ごみ削減の取組を推進する制度



雑がみ分別袋※イメージ



マル優エコ事業所認定証

行動目標

SDGs 指標

9 新ごみ処理施設整備事業 **ゼロカーボン**



安定したごみ処理を継続するため、立地地区の理解を得ながら令和4年度に行った施設の実施設設計を基に、新ごみ処理施設の建設工事に着手します。

新ごみ処理施設建設工事の着手



新ごみ処理施設完成予想図



行動目標	SDGs 指標
<p>10 良好な生活環境の保全と廃棄物の適正処理の推進</p> <p>大気・水質等の環境調査を継続して実施するとともに、事業活動による環境負荷の低減のため、事業場への立入調査・指導を行い、良好な生活環境の保全を図ります。また、公害の未然防止のため、事業者の環境意識の向上を目的とした企業向け研修会を行うなど、啓発にも取り組みます。</p> <p>廃棄物の適正処理については、廃棄物処理業者への指導や監督、排出者への指導や減量等に向けた助言を行うとともに、不法投棄や不法焼却の抑制を目的とした啓発やパトロール等に取り組みます。また、PCB 廃棄物が市内に残置されることのないよう国や関係機関等と連携し、確実な処分につなげます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③1 大気、水質（河川・海域）における環境基準達成率（※）： 100% 企業向け研修会参加社数（累計）： 131社（4年度）→ 151社（5年度）</p> </div> <p>※ 環境基準達成率 大気：達成観測局数／市内全観測局数×100 令和5年度目標：3局／3局×100=100% 水質（河川）：達成河川数／環境基準が設定されている市内河川数 令和5年度目標：7河川／7河川×100=100% 水質（海域）：達成海域数／環境基準が設定されている市内海域数 令和5年度目標：4海域／4海域×100=100%</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> </div>